

○令和5年度 教育事業

「 大雪書道教室～日本の伝統文化に触れよう～ 」(R5.8.2 (水))

◆目的

書道体験と他の作品鑑賞をとおして 書道の技術を高め 想像力を育む一助とする。

◆参加実績 (定員 30 名)

参加 12 名
書道部に所属する高校生

◆プログラム

① 演習①・・・・・・(110分)

初めに、講師から書道における書体についての講話があった。それぞれの書体を持つ性質などを説明した。また、違う書体を練習することで、自分の作品にも良い影響があることも説明をした。

次に、講話の内容も踏まえて、普段練習している作品の錬成を行なった。錬成中は、講師からのアドバイスを受けたり、講師へ質問をしたりしながら、参加者は作品の錬成に打ち込んだ。

途中、参加者同士で作品の鑑賞をしたり、講師が選んだ参加者の書く姿勢を見学したり、他者から学ぶ時間も設けた。他者の書く姿勢や息遣いを見ることで、より良い作品づくりにつながった。



② 演習②・・・・・・(120分)

講師から数個の題材が出て、好きな題材を選んで作品を錬成した。参加者毎に題材の言葉の捉え方が違い、個性のある作品を錬成していた。普段練習している作品とは異なる題材を書くことで、文字の形を捉える練習となった。最後に、講師が題材の中から一つ選び錬成した。講師の書に対する姿勢や筆の使い方、書いているときの息遣いまで目の前で見ることができ、自分の作品づくりへつながる機会となった。



◆事業運営・企画のポイント

○例年施設を利用している書道部の先生に協力いただいた。また、講として、書家の方を紹介してもらい、講師選定にも協力いただいた。

◆参加者の声

□普段と違う題材を書くことで、自分はこんな表現ができたんだという発見があった。

□部活ではできない貴重な体験ができて良かったです。

□他の人や講師が書いている様子を見て、動き方や構成など創作についてたくさん学べて良かった。



◆事業の成果

① 講師や他の参加者が書いている姿を見ることで、書に対する姿勢などを学べる良い機会となった。

② 普段とは違う書体の題材を書くことで、自分の可能性や良いところを発見できる良い機会となった。